



オリンピック・パラリンピック教育を通じた 人材育成と、多様性を尊重する共生社会づくりを進めます



5

- 東京2020大会を通じて、友情、連帯、フェアプレーの精神に基づく相互理解などのオリンピズムを広く普及させるとともに、グローバル社会の中で活躍できる国際的な人材を育成していくことが重要です。
- このため、大会に向けてオリンピック・パラリンピック教育を推進して、国際社会に貢献し、東京、そして日本のさらなる発展の力となる人材を育成するとともに、大会の経験を通して人生の糧となるかけがえのないレガシーを子供たちの心と体に残していきます。
- また、東京が、真のグローバル都市としてのプレゼンスを確固たるものとし、将来にわたり発展し続けていくためには、多様な文化を受け入れ、東京に暮らす全ての人々が分け隔てなく自己の能力を発揮できる社会をつくりあげていかななくてはなりません。
- 世界中から多くの人々が東京に集う東京2020大会を契機に、年齢や障害の有無、国籍、文化の違いなどに関わらず、あらゆる人々がお互いの人権を尊重しあい、ともに力を合わせて生活する共生社会を実現していきます。

1 オリンピック・パラリンピック教育を推進するとともに、多様性を尊重する意識・態度や国際感覚を醸成します

オリンピック・パラリンピック教育を都内全ての学校で展開するとともに、日本人としての誇りや多様な文化を尊重する心、国際感覚を醸成し、国際社会で活躍できる若者を育成します

主な取組

- ・「4テーマと4アクション」によるプログラムの提供
- ・「英語村(仮称)」の開設など学びの場の国際化
- ・日本や東京の文化・歴史を学び、日本人としての自覚と誇りを涵養

2 参加型・活躍型の多文化共生社会実現に向けた取組を推進します

東京2020大会を契機に、東京で活躍する外国人へのサポート、グローバル都市にふさわしい意識を醸成するための取組を通じて、外国人都民とともに東京の成長を実現する参加型・活躍型社会の更なる進展を目指します

主な取組

- ・東京へのビジネス展開を考えている外資系企業のビジネスパーソンなどに対し、東京への進出や、生活のスタートをサポート
- ・生活情報や防災情報を多言語で一元的に提供
- ・東京都国際交流委員会*を再構築し、外国人への生活サポートを推進

3 障害のある人もない人も互いに尊重し、支えあう共生社会の実現に向けた取組を推進します

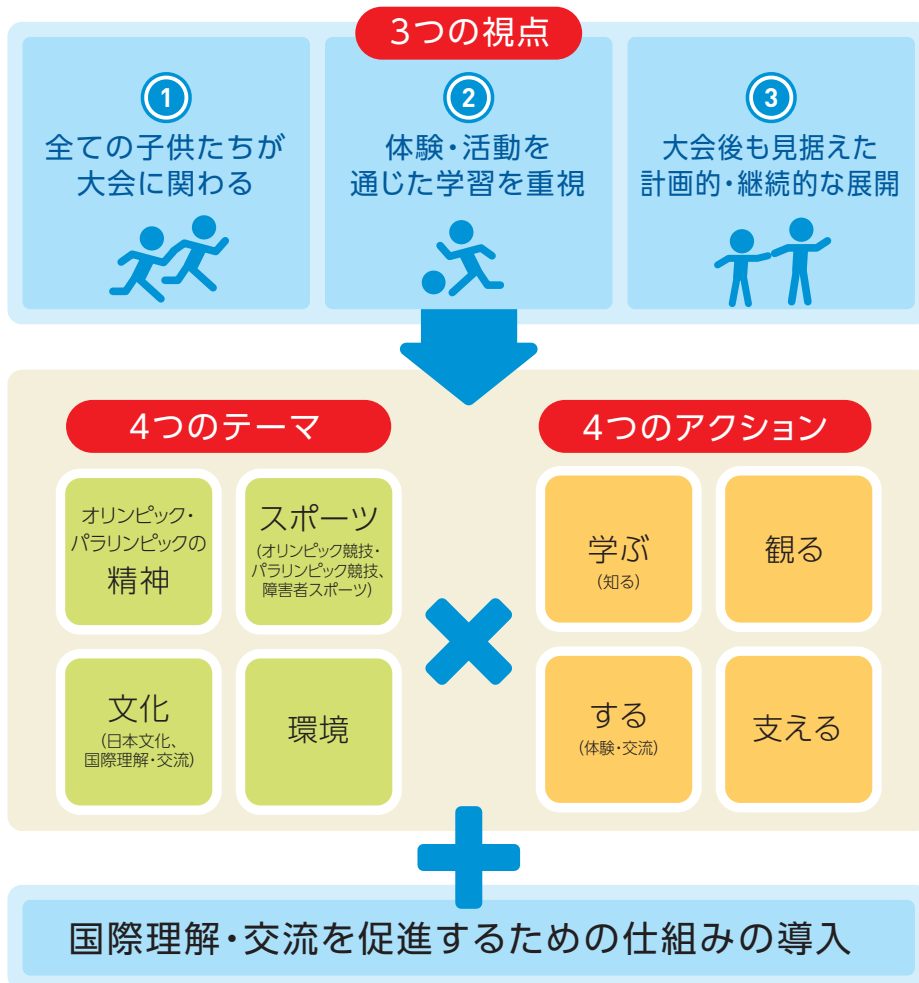
ユニバーサルデザイン*の視点に立った福祉のまちづくりや、障害及び障害者への理解促進等の取組を推進し、共生社会の実現を目指します

主な取組

- ・アクセシビリティ・ガイドライン*の策定と活用
- ・ICT*を活用したコミュニケーションツールの普及促進など情報バリアフリーの推進
- ・様々な広報媒体の活用などによる障害者への理解促進

1 オリンピック・パラリンピック教育の推進と 多様性を尊重する意識・態度や国際感覚の醸成

[1] オリンピック・パラリンピック教育の展開



2020年に向けた取組の概要

○「4テーマと4アクション」によるプログラムの提供

■「オリンピック・パラリンピック精神」にオリンピックムーブメントの3本柱(スポーツ、文化、環境)を加えた4つのテーマと4つのアクションを組み合わせた多様なプログラムを、リオデジャネイロ大会後～東京大会3年前、2年前～1年前、開催年の3つのフェーズに分けて展開する。

- ・アスリートや指導者を学校に招きオリンピック・パラリンピック競技を体験する<スポーツ×する>
- ・障害者スポーツ大会等をボランティアとして支える<スポーツ×支える>
- ・伝統芸能や食文化に関するイベント等を通じ、地域の外国人や留学生、大使館等との交流を深める<文化×する>

○国際理解・交流を促進するための仕組みの導入

■大会を契機に、世界の国々の多様性と異文化を理解するとともに、日本固有の文化を発信できる力を育てるために、各学校において東京の特性を生かし、多様な国々について学ぶ機会を提供する。

[2] オリンピック・パラリンピック教育における 多様性を尊重する意識・態度や国際感覚を醸成する取組の展開

2020年に向けた取組の概要

○ 異文化理解と国際交流の推進

■ 東京ならではの国際理解教育や姉妹校提携等により、国際交流を促進し、各国の文化や世界の多様性への理解を深める。

■ 留学生や地域在住の外国人、大使館等との様々な交流機会を設け、互いの国の文化を理解し尊重する意識と態度を醸成する。

○ 教育を通じた障害者への理解促進

■ パラリンピアンや障害者スポーツ競技団体の指導者等を学校に派遣し、障害者スポーツの体験を通じた交流により、障害者への理解を促進する。

■ 特別支援学校と、小中学校等の児童・生徒や地域住民との障害者スポーツを通じた交流活動を推進することにより、障害者への理解を促進する。

○ ボランティアマインドの醸成

■ 国内の障害者スポーツ大会や地域のスポーツ大会・行事の運営等に生徒がボランティアとして関わる取組を推進し、相手を思いやる態度や共助の心を育て、将来の大会関連ボランティア*の育成につなげる。

■ 東京2020大会開催時に、子供たちが大会関連ボランティアとして活躍できる機会を設ける。



○使える英語力や国際感覚習得のため 学びの場を国際化

■ 少人数・習熟度別指導を展開するなど、個々の能力に合わせた教育を推進し、子供たちの英語力を向上させていく。

■ 東京にしながら海外生活や異文化を体験できる「英語村(仮称)」を開設する。

■ グローバル人材育成を推進する都立高校10校を「東京グローバル10」として指定し、外国語教育、生徒の海外研修、国際交流の取組を積極的に推進する。

○日本人としての自覚と誇りの涵養

■ 日本や東京の文化・歴史を題材とした都独自の英語教材「Welcome to Tokyo」を作成し、子供たちが日本文化を英語で発信するための力を育てる。

■ 日本や郷土の伝統・文化について理解を深め、発信していく力を身に付けるため、専門家等を招へいし、体験的に学ぶ機会を拡充する。

■ 学校での文化交流を通して自国の文化への理解を深めるため、JETプログラム*による外国人指導者を活用する。

○高等教育におけるグローバル人材の育成

■ 首都大学東京における留学プログラムや、都立産業技術高等専門学校における海外体験プログラムなどを実施し、国際社会で活躍できるグローバル人材を育成する。

■ 首都大学東京において、外国人留学生を積極的に受け入れ、学生間の交流や文化の相互理解を図ることで、日本人学生の国際感覚の醸成を促進する。



2 参加型・活躍型の多文化共生社会実現に向けた取組の推進

2020年に向けた取組の概要

○ ビジネスパーソンや留学生など、 東京で活躍する外国人をサポート

■ 東京へのビジネス展開を考えている外資系企業のビジネスパーソンなどに対し、東京における生活・ルールなどを紹介することにより、東京への進出や、生活のスタートをサポートする。

■ 留学生や東京在住の外国人に起業ノウハウを提供するとともに、外国人雇用や海外進出を目指す企業をサポートする。

■ 東京在住の外国人に対する支援などを通じてグローバル人材を育成するNPO団体等への支援を拡充する。

○ 東京で働く外国人やその家族が 安心・快適に生活するためのサポート

■ 生活情報や防災情報を多言語で一元的に提供することにより、安心して生活できる環境を整備する。

■ 芸術文化やスポーツイベントなどの情報を提供し、快適で充実した生活が送れる環境を整備する。

■ 企業や大学等との連携により、ボランティアや防災活動などに参加できる環境づくりを行う。

■ 道路や鉄道などの交通機関や医療、救急、防災等の生活全般における多言語対応を充実させる。

参加型・活躍型の多文化共生社会の実現



○グローバル都市にふさわしい意識を醸成するための取組

■ 民間団体等と連携し、新たな交流の場を設け、日本人と外国人の交流を深める。

■ 文化・風習の違いを紹介するなど、多様な価値観を受入れる意識の醸成を図る。

■ 人権尊重の意識を醸成するため、大規模啓発キャンペーンを実施するとともに、啓発拠点を強化し一層の情報発信を行う。

■ オリンピック・パラリンピックと人権に関するシンポジウムを開催し、東京の人権尊重の取組等を国内外に発信する。



○様々な機関や団体と連携し、外国人を支援

■ 東京都国際交流委員会を再構築し、情報提供や相談機能を整備するとともに、区市町村等と連携し外国人への生活サポートを推進する。



2014年度 外国人支援のための防災訓練

3 障害のある人もない人も互いに尊重し、支えあう共生社会の実現に向けた取組の推進

2020年に向けた取組の概要

○ユニバーサルデザインの視点に立った福祉のまちづくりの推進

■ 鉄道駅・道路・建物等のバリアフリー化を推進するとともに、福祉のまちづくり条例等に適合した施設等の整備を行う。

■ アクセシビリティ・ガイドラインを踏まえたオリンピック・パラリンピック競技会場等の整備を進める。

■ アクセシビリティ・ガイドラインの考え方をレガシーとして残すため、全ての人にやさしいユニバーサルデザインの視点にたった福祉のまちづくりの一層の推進につなげていく。(再掲:19頁参照)

○心のバリアフリー・情報バリアフリーの推進

■ 福祉のまちづくりサポーター*の養成やバリアフリーマップの作成など、区市町村による福祉のまちづくりに関する自主的な取組を支援する。

■ 聴覚障害者や視覚障害者との意思疎通を支援するため、外国の手話も含めた手話のできる都民の育成や、ICTを活用したコミュニケーションツールの普及促進を図る。

■ 障害者への理解促進のため、特設サイトなど様々な広報媒体等を活用した普及啓発を進める。

■ 心のバリアフリーの普及啓発に向けた教育を推進する。

心のバリアフリー・
情報バリアフリーの推進

障害者のスポーツ・
文化芸術活動の振興

ユニバーサルデザインの視点に立った福祉のまちづくりの推進



障害者が利用できる建築物・
施設を示す国際シンボルマーク



共生社会の実現

○障害者のスポーツ・文化芸術活動の振興

■ 障害者スポーツの振興を図るため、普及啓発や気運醸成に取り組むとともに、障害者スポーツの場の整備や人材育成等を推進する。

■ 障害者の文化芸術活動を支援するため、障害者美術展や「障害者アートプログラム」を実施する。